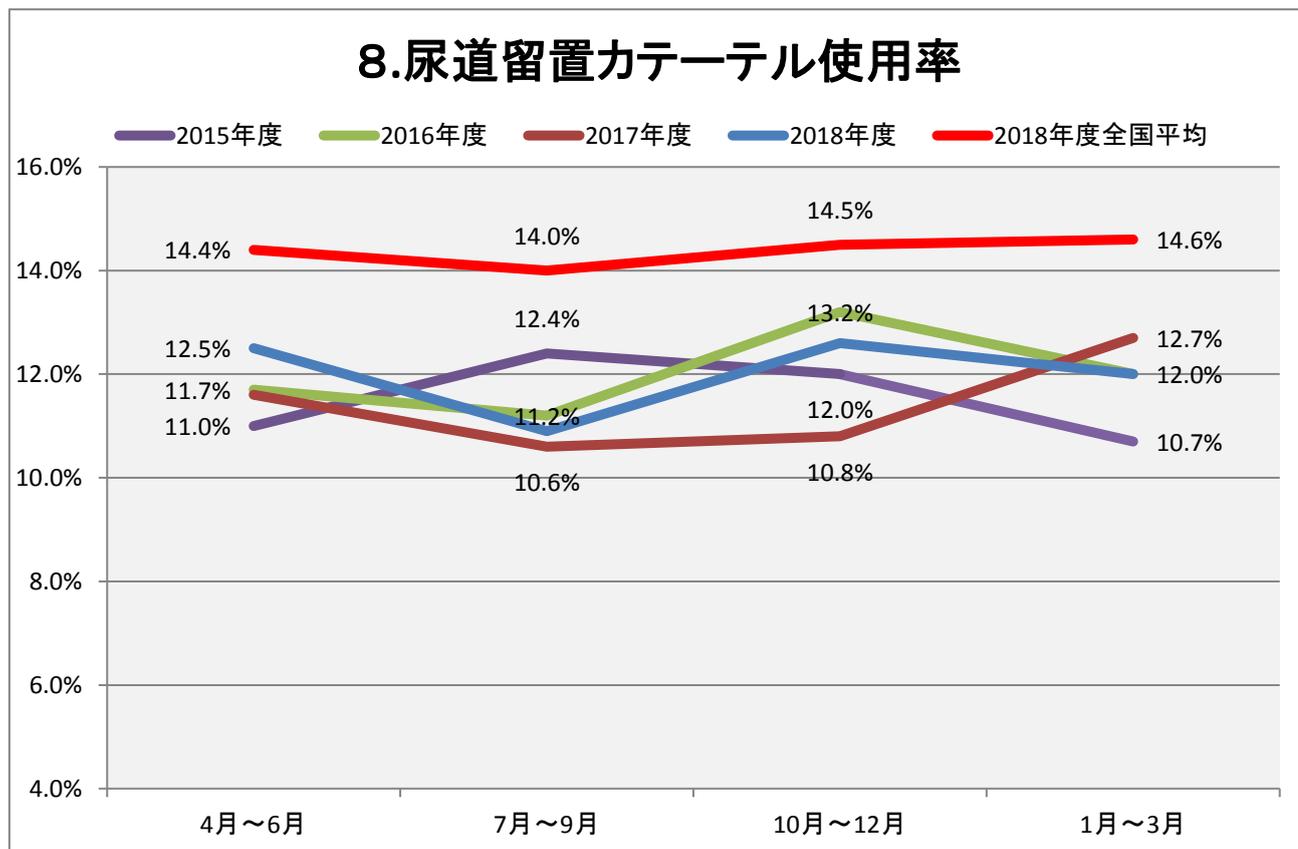


8.尿道留置カテーテル使用率

(1)調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2018年度	12.5%	10.9%	12.6%	12.0%
2017年度	11.6%	10.6%	10.8%	12.7%
2016年度	11.7%	11.2%	13.2%	12.0%
2015年度	11.0%	12.4%	12.0%	10.7%
2018年度全国平均	14.4%	14.0%	14.5%	14.6%

(2) 指標の説明 尿路感染症は医療関連感染の中でも最も多く、約40%を占め、その80%が尿道留置カテーテルによるもの、CAUTIです。医療機関で起こる血流感染の15%はCAUTIの合併症であると推計されており、その寄与死亡率は15%を超えます。CAUTIのリスクは医療機関、部署、患者の特性に左右されますが、エビデンスレベルが高い予防策の実施により、CAUTIの65%-70%は予防可能と推計されています。

(3) 定義 分子: 尿道留置カテーテルが挿入されている延べ患者数
分母: 入院延べ患者数